



「うし年」生まれの人は、のろまなの

迷信で、そういわれているだけ

年をとった人などには、こういう話をする人がおり、本当だと思っている人もいますが、このようなことは迷信です。

「うし年」とか「うま年」生まれというのは、もともと、中国から伝わった十二支というものに、12種類の動物を、あてはめただけのものなので、十二支の動物と、その年に生まれた人の性質とは何の関係もなく、迷信でそういわれているだけなのです。

十二支というのは

今から4000年ほど前、中国では、日を数える順序として、子(シ)、丑(チュウ)寅(イン)、卯(ボウ)、辰(シン)、巳(シ)、午(ゴ)、未(ビ)、申(シン)、酉(ユウ)、戌(ジュツ)、亥(ガイ)の12を決めました。これが十二支の起こりです。そして、年を数えるのにも、これを使っていたのですが、こんなむずかしい字や読み方では、学問のない人にはむりだろうというので、後に、これらを動物にたとえて、覚えやすいようにしました。

それが、日本にも伝わってきたのですが、日本ではそれに、ネズミ、ウシ、トラ、ウサギ、タツ、ヘビ、ウマ、ヒツジ、サル、トリ、イヌ、イノシシの12の動物をあてて、ネ、ウシ、トラ、ウ、タツ、ミ、ウマ、ヒツジ、サル、トリ、イヌ、イとよんでいます。

(監修・青木 国夫)

